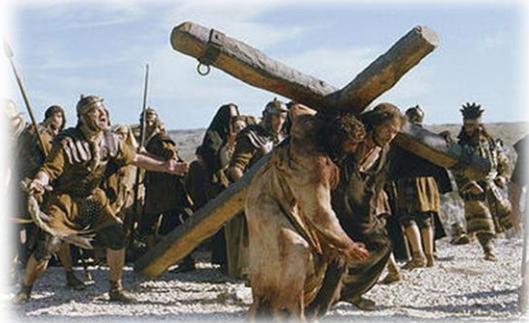


発行日
2024年
3月24日

今週のお祈り
人類を深く愛し、み子イエス・キリストをこの世に遣わされた全能の神よ、み子はわたしたちと同じ肉体を取り、己を低くして十字架の死に至るまであなたに従われました。どうかわたしたちに恵みを与えて、み子の苦しみの模範に従わせ、またそのよみがえりにあずかせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

今週の聖書 マルコによる福音書 15:13-19

13 群衆はまた叫んだ。「十字架につける。」14 ピラトは、「一体、どんな悪事を働いたというのか」と言ったが、群衆はますます激しく、「十字架につける」と叫んだ。15 ピラトは群衆を満足させようと思っ、バラバを釈放した。そして、イエスを鞭打つてから、十字架につけるために引き渡した。16 兵士たちは邸宅、すなわち総督官邸の中にイエスを連れて行き、部隊の全員を呼び集めた。17 そして、イエスに紫の衣を着せ、茨の冠を編んでかぶらせ、18 「ユダヤ人の王、万歳」と挨拶し始めた。19 また、葦の棒で頭を叩き、唾を吐きかけ、ひざまずいて拜んだりした。20 このようにイエスを侮辱したあげく、紫の衣を脱がせて元の上着を着せた。そして、十字架につけるために外へ引き出した。21 そこへ、アレクサンドロとルフォスとの父でシモンというキレネ人が、畑から帰って来て通りかかったので、兵士たちはこの人を徴用し、イエスの十字架を担がせた。22 そして、イエスをゴルゴタという所、訳せば「されこうべの場所」に連れて行った。23 没薬を混ぜたぶどう酒を飲ませようとしたが、イエスはお受けにならなかった。24 それから、兵士たちはイエスを十字架にかけて、誰が何を取るか、くじを引いてその衣を分け合った。25 イエスを十字架につけたのは、午前九時であった。26 罪状書きには、「ユダヤ人の王」と書いてあった。27 また、イエスと一緒の二人の強盗を、一人は右にもう一人は左に十字架につけた。28 こうして、「その人は犯罪人の一人に数えられた」という聖書の言葉が実現した。29 そこを通りかかった人々は、頭を振りながらイエスを罵って言った。「おやおや、神殿を壊し、三日で建てる者、30 十字架から降



聖書からのメッセージ 司祭 橋本 克也

イエスは、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」と叫んで息を引き取られました。十字架にはさまざまな人々が関わり、また見上げていました。ローマの総督ピラト、祭司長、長老と議員、ユダヤの指導者や権力者、兵士たち、「十字架にかけろ、殺せ」と叫んだ人々も。また、弟子たちは捕らえられたイエスを拒絶して逃げ去っていました。イエスが息を引き取られたのを見て、「本当に、この人は神の子だった」と言ったのはローマの百人隊長でした。イエスは、このすべての人の救い主となられました。憎しみや恨みによって隣人を傷つけ、自分の罪から逃げ出す弱い私たちが最後まで受け入れておられる「神の愛」に本当に出会ったのです。

りて自分を救ってみろ。」31 同じように、祭司長たちも律法学者たちと一緒にあって、代わる代わるイエスを侮辱して言った。「他人は救ったのに、自分は救えない。32 メシア、イスラエルの王、今すぐ十字架から降りるがいい。それを見たら、信じてやろう。」一緒に十字架につけられた者たちも、イエスを罵った。33 昼の十二時になると、全地は暗くなり、三時に及んだ。34 三時にイエスは大声で叫ばれた。「エロイ、エロイ、レマ、サバクタニ。」これは、「わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか」という意味である。35 そばに立っていた何人かが、これを聞いて、「そら、エリヤを呼んでいる」と言った。36 ある者が走り寄り、海綿に酢を含ませて葦の棒に付けてイエスに飲ませ、「待て、エリヤが彼を降ろしに来るかどうか、見てみよう」と言った。37 しかし、イエスは大声を出して息を引き取られた。38 すると、神殿の垂れ幕が上から下まで真っ二つに裂けた。39 イエスに向かって立っていた百人隊長は、このように息を引き取られたのを見て、「まことに、この人は神の子だった」と言った。